

# 商 況

(日本製鐵販賣月報第4號抜萃)

## 目 次

- 昭和 14 年 9 月中鐵鋼關係日誌
- 海外鐵鋼事情
- 既約定品に對する證明書取扱について
- 鐵鋼配給統制團體の改正

- 形鋼共販の新組合員
- 東京大阪鐵鋼市況
- 昭和 14 年 9 月中發表各種鋼材建値表

### 昭和 14 年 9 月中鐵鋼關係日誌

- 1 日 蒙古聯合自治政府は徳王を首席とし成立した。
- 獨空軍はワルソー外 16 ケ所を空襲し獨、波戰端開く。
  - ダンチツヒのドイツ歸屬に關する法令が公布され即日效力を發生した。
  - 伊國緊急國務會議は獨波衝突に對しては積極的軍事行動をとらずと發表した。
  - チェンバレン英首相は緊急議會に於て獨逸が飽くまで武力行使を止めなければ武力を以て援波すと決意を表明した。
  - 第 1 回與亞奉公日。
- 3 日 チェンバレン首相は午前 11 時 15 分(日本時間午後 7 時 15 分)「英國はドイツと戰爭状態に入たことを告げなければならなくなつた」と放送した。
- 佛政府は獨軍がポーランドより撤退せざる場合は參戰する旨發表した。
  - 英客船アセニア號(13,465 t)は大西洋上で撃沈さる。
- 4 日 帝國政府は歐洲動亂に對しては何れにも加擔せず専ら支那事變の解決に邁進すと聲明を發表した。
- 英佛の對獨宣戰布告に對し我財界各方面は比較的落付きを示してゐたが東株及び横濱生絲の清算市場は事實上の立會中止の状態であつた。
- 8 日 今週の米國製鋼作業率は全能力の 58.6% にして前週より 4.4% の減、U. S スチール株は 68 弗 4 分 3 (前日より 4 弗 8 分 3 高)、製鋼業者は世界中のあらゆる方面から殺到する電報註文に忙殺されて居り輸出値段は一般に 1 當り 2 弗方昂騰したと。
- 9 日 8 月中の東京卸賣物價指數は 272.2 にして前月よりも 7 厘方の騰貴に當る、調査品目 110 品中騰貴 32、低落 19、保合 59。
- 海軍珠江作戰部隊の一部は南支岐山東麓に敵前上陸す。
- 10 日 カナダは對獨宣戰を布告す。
- 12 日 米國鐵鋼協會は 8 月中の銑鐵生産高を 2,660,000 t (前月 2,356,000、鋼生産高 3,764,000 t (前月 3,289,000)) と發表した。
- U. S スチール會社の 8 月中の引渡高は 804,000 t (7 月 128,000) であつた。
  - 米國今週の製鋼作業率は全能力の 70.2% と見積られ前週より 11.6% の激増であつた。
  - 支那派遣軍總司令部新設され、總司令官に西尾壽造大將親

補され、總參謀長に板垣征四郎中將仰付けらる。尙關東軍司令官には植田大將の後を繼いで梅津美治郎中將補せらる。

○阿部内閣は政策の中核を支那事變處理に置き軍備の充實と基本的國策培養に精進し外交に關しては自主的立場を堅持すと政綱を發表した。

○棒鋼、形鋼共販理事會では棒鋼特別極軟鋼其の他の取扱につき種々審議の結果特別極軟鋼のエキストラ從來の「最低 100 圓」を「100 圓」とし口錢率は 13 日決定さるべき中間鋼並とする事とした。其の他のエキストラ並に取扱方法は總て從來通りと決定した。

9 月より日本鋼材販賣會社に於て統制販賣さる事となつた伸製品のエキストラについては常務理事會に一任する事となつた。

11、12 月積販賣に關しては日本鋼材聯合會の方針に基き原材料の獲得並に値段等の先行見透困難の爲新規賣出に之を見合せ既契約の積出に力を注ぐ事とした。

13 日 鋼板共販理事會では 10、11 月販賣に關しては昨日開催された棒鋼、形鋼共販と同方針を執る事となつた。

小口修繕船用規格付鋼板取扱方法に關しては從來共販に於て各組合員に於て適宜處理の上事後報告したるも、今後は販賣會社に於て取扱ふ事となりたるに就ては次の通り處理する事となつた。

(1) 價格其他 發表建値條件による。

(2) 引受メーカ 京濱地方 鶴見製鐵造船

阪神地方 川崎造船、中山製鋼、大和製鋼

若門地方 日本製鐵、東海鋼業

(3) 販賣會社にて即時決定の上共販へ事後報告する事

○半製品、棒鋼共販第 2 部理事會は 11、12 月積販賣に關しては日本鋼材聯合會の方針に従ふ事とした。

組合員の合資會社山中製鐵所は千葉製鋼株式會社と社名を變更した。

○12 日及 13 日に開催された日本鋼材聯合會常務委員會は次の如く

會員たる日本亞鉛鍍鋼業株式會社は社名を日亞製鋼株式會社と改正した旨報告があつた。

建値については前月通り据置とし、原料關係の諸問題緊迫せる折柄、先物は原則として賣出を停止し獎約殘の整理を

なす事となつた。

尙現行建値中各品種間に均衡を缺くものについては訂正する事に申合せた。

線材の販賣制度については指定販賣人及指定問屋の機構を一元化して指定扱人を設置し、口銭は普通線1に付2圓、特殊線材は3圓、(何れも内口銭)とする事と決定した。

鋼管販賣會社の創立に關し次の如き経過報告があつた。

(1) 現在の日本ガス管販賣株式會社を改組して鋼管販賣統制機關とし、鋼管メーカーとの一手販賣契約に基き一定値段にて買取り之を販賣すること、鋼管の輸移出入をなすこと。

(2) 取扱ふべき鋼管の品種はメーカー2社以上共通品種とし、差當りガス管(ネヂ付、ネヂ無共)、ボイラーチューブ、コンデツト用鋼管、但しこの内に付2、3級管も含む。

(3) 會社の資本金は500萬圓、全額拂込とすること。

(4) 株主は鋼管メーカー、日本鋼材聯合會又は其代表者、指定問屋。

○半製品共販鋼塊部理事會開催され、組合員關係外よりの半製品申込に對し商工省と協議の結果査定せる割當高竝に證明書發行に就て次の如く決定した。

(1) 府縣工聯への割當は割當總數を日本鐵工聯へ通知し日本鐵工聯をして割當證明書を發行せしむることとした。但東京、大阪、名古屋鍛工組合を除く。

(2) 府縣工聯外の組合には半製品共販にて割當て、組合は組合員への割當高を申請せしめ、その申請に基いて日本鋼材聯合會は割當證明書を發行す。

(3) 鋼塊、鋼片、ブルーム、スラブを總括して「半製品」としシートバーエンド及スケルブ短尺を「半製品短尺」として證明書を發行す。

(4) 需要者中には製鋼業者と特殊關係あるか又は材料の供給に支障を來さぬ爲工業組合へ加入せざる者もあるが今後は工組に加入せざる者の割當は一切之をなきす。

(5) 本期は9月分として凡そ1ヶ月分を割當てられた。次に10、11月積の販賣は12日開催された鋼材聯合會の方針により新規賣出しは見合せの事と決定した。

組合員たる日本亞鉛鐵鋼業株式會社は9月1日より日亞製鋼株式會社と社名を變更する事となつた。

14日 線材共販理事會は12日開催された日本鋼材聯合會の方針に基き、原材料の獲得竝に値段等の先行見透困難の爲之を見合せ既契約品の積出に力を注ぐ事と決定した。但し輸出線材については新契約を認め又軍部及び其他緊急不許得向に對するものにして實需家に於て契約殘なき時は特に考慮をする事となつた。

○獨軍はグヂニア港を陥した。

15日 米國では最近屑鐵及び銑鐵相場の更新が繰返されてゐる折柄U.S.スチール會社の最大の子會社たるカーネギーイリノイス製鋼會社では本年第4期の鐵鋼價格を据置く旨發表した。

16日 大本營陸軍報道部發表によれば8月中の北、中、南支の綜合戰果は敵交戰延兵力累計307,291、敵遺棄屍體22,764、敵俘虜2,419に對し我方の戰死は645名であつた。

○6月中の全國勞働名目賃金指數は(大正3年7月基準)3265で前月より1分3厘の續騰であつた。

○ノモンハン事件の停戰協定成立す。

17日 ソ聯軍はポーランド國境を越えてウクライナ及び白ロシアを占領する事に決した。

18日 北支最高指揮官として杉山大將の後を受けて多田中將新任さる。

19日 半製品共販理事會は10月積賣出しに關しては新規賣出しは見合せ既契約品の整理に力むる事となつた。

○今週の米國製鋼作業率は全能力の79.3%と見積られ、前週より9.1%の増加であつた。工場方面では戰爭景氣のための思惑的な注文が増加するのを防止する爲に割當政策をとつてゐると。

○正午内閣發表、閣議に於て總動員法の發動により國內の價格全般に互り9月18日現在より引上ぐることを禁止する事に決定した。

20日 南京に於て中華民國聯合委員會開催され、維新政府首班梁氏、臨時政府首班王氏並びに新中央政權樹立運動に邁進しつゝある汪氏等會見す。

○獨軍最高司令部は獨・ソ間に波國分割に關する軍事的境界線劃定の協議成立せる旨發表す。

○ソ聯は波國東南部の都レンベルグを占領す。

23日 海軍陸戰隊は洞庭湖東岸鹿角附近の要地を占領す。

○我軍は泊水の敵前渡河を敢行せり。

25日 我陸戰隊は洞庭湖東岸磊山の一角を占領せり。

○野村吉三郎海軍大將外務大臣に任ぜらる。

26日 閣議に於て貿易省を設置することに方針を決した。

○今週の米國製鋼製作業率は全能力の83.8%と見積られ前週より4.5%の増加である。

○米國最近の屑鐵相場は時局の反映を受けて著しい更新を繰返してゐる。即ち8月1日に1937年10月來の高値を示し、9月7日にはそれを更に50仙上廻りピッツバーク渡一級屑鐵で16弗50仙乃至17弗に更新され、12日には50仙乃至1弗方引締り16日には更にそれを19弗50仙乃至20弗と更められ、26日に至り遂に23弗で商内が出来た。

○カナダ政府では屑鐵の輸出を禁止する旨發表した。

27日 獨軍はワルシヤワ籠城軍の降服申入を發表す。

28日 ソ聯はエストニアと相互援助條約締結せる旨聲明す。

九月中爲替相場

月日	區分		月日	對米		對英	
	對米	對英		對米	對英		
9. 1	25- <sup>5</sup> / <sub>16</sub>	1/2	8. 16	23- <sup>5</sup> / <sub>16</sub>	1/2		
2	24- <sup>13</sup> / <sub>16</sub>	"	18	"	"		
4	24- <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	"	19	"	"		
5	"	"	20	"	"		
6	23- <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	"	21	"	"		
7	"	"	22	"	"		
8	23- <sup>3</sup> / <sub>8</sub>	"	23	"	"		
9	"	"	25	"	"		
11	"	"	26	"	"		
12	23- <sup>9</sup> / <sub>16</sub>	"	27	"	"		
13	23- <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	"	28	23- <sup>7</sup> / <sub>16</sub>	"		
14	23- <sup>9</sup> / <sub>16</sub>	"	29	"	"		
15	"	"	30	"	"		

我軍は長沙防衛上の最大據點たる平行縣城を制壓せり。

29日 中央物價常任委員總會に於て鐵鋼の生産、配給並に價格に關する對策の要綱が決定された。

○波國分割に關する獨・ソ間の新協定に調印を了す。

○獨外務當局は英・佛兩國に對し宣戰の撤回を要求すると共に獨政府は平和會議應諾の意あることを表明した。

### 海外鐵鋼事情

**歐洲の戰爭とアメリカ鐵鋼業界** 今般の歐洲に於ける戰亂の勃發は、合衆國の鐵鋼市場に殆ど狂熱的な活氣を與へた。永い間買手の天國であつた市場が、今や一朝にして賣手の支配下に立つ事となつたのである。

凡ゆる分野に亘て價格昂騰の氣配のあるのを見てとつて需要家は、現在の價格でメーカーが今期中に積出す事を引受けさうな見込のあるもの一切に對して、大量に見積書を提出した。一方メーカーの方は、9月中に賣出すものについては今更建値を變更するわけには行かないので、已むを得ず、引渡の時に於ける一般建値に從て引取るといふ條件で契約する事を希望してゐる。然し此の條件は大抵の方面に於て拒否されてゐる。

公表されてゐる値段に對して、幾分でも弱氣が見受けられてゐたものは、もとより一切消失した。消費者は此の傾向や、更に又第44年期の開始が延び延びになつてゐる事に氣附いて、建値引上げの可能性を大いに憂慮してゐる。

然しながら一方東部の銑鐵の賣手は、別に公式の發表は行はなかつたけれども、事實上次期の建値の引上げを行はないうで、消費者を保護する態度に出た。又ブリキの建値は今年中は變更されぬ事となつた。然しこれ等の事實も、現在の價格に於て出来る限り數量を購入しようとする買手の努力を、餘り減殺する事は出来なかつた。

兎に角一度第44半期の價格が一般に公表され、買手が需要充足の機會を得さへすれば、少くとも一時的には現在の事態は緩和されるものと期待されてゐる。

メーカーは一般に、利口に立廻て賣るといふ政策を固持してゐる。鐵鋼價格が騰貴するだらうといふ事は、既に諸方に於て豫期されてゐたけれども、然し此の騰貴の程度はさほど甚しくはあるまいと期待されてゐる。幾つかのアメリカ最大のメーカーを包含する鋼輸出協會の加盟者は、此の組織を従來通りウェブ・ボマリン・アクトの規定に從て活動するものとして、何等の變更をも加へずに置かうと考へてゐる。

國外需要は急激に増加した。其れは主として中立國、特に南アメリカからのものであつた。スカンジナビアからの引合、特に銑鐵の引合は急速に取り上げられた。然し北大西洋航路の甚しい船腹不足、戰時保險料、アメリカの賣手の非常な高値要求、等の事情の爲に商談は整はなかつた。

國外鐵鋼輸入業者は凡ゆる建値を撤回した。又フェロ・マンガンの國內販賣業者は先物値段を一切撤回し、第44半期の帳簿を9月中旬には開始すべき筈なのを、暫く開始時期未決定といふ事にした。これは多分に値上げの可能性を含むものである。

凡ゆる製品の輸出價格が、 $t$ 當り1弗50仙乃至3弗方騰貴した。但しもつと急激に昂騰した部門もある。例へば銑鐵は $t$ 當り數弗、ブリキは6弗、又輸出値段の甚しく軟弱であつた鋼板が9弗も昂騰した。

鋼材に對する需要激増の爲に、銑鐵1貫作業のメーカーは、自己の銑鐵を外部に賣らずに置くものと豫想され、斯くて國外の銑鐵需

要の充足の責は、販賣銑のメーカーに負はされるであらう。

事情斯くの如くであるけれども、輸出價格が國內價格を越えるやうな場合は、假令あつたとしても稀であつた。さうして大部分の製品については、輸出市場は依然として國內市場より下位にあつた。建値については通常のfas建の代りに工場渡し値段で建て、船積み

の責を全部買手に負はせてゐる。輸出物の建値はアメリカン・ダラー建である。然しながら輸出貿易の狀態が、主として船腹不足の爲に甚しく混亂してゐる爲に、實際の買付はさほど大きくはなかつた。交戰國からの鐵鋼の買付は、銑鐵だけは別として、少くとも此處數ヶ月間には大した發展はなからうが、たゞ機械及び或る種の設備に對する注文の増加は、製鐵業の受註狀態に反映するだらうと豫想されてゐた。

交戰諸國は現在の所潤澤に供給されてゐる。さうしてこれ等の諸國が廣範圍に亘て活動する護衛組織を作り、又其の他の點に於ても組織されるやうになるまでは、アメリカから大量の買付を行ふやうにはならないだらうと信ぜられてゐた。

然し一方以前交戰國へ行て居た取引が、戰爭の爲にアメリカへ轉換され、これがアメリカのメーカーに、各種製品に對する大量の注文を齎すだらうと豫知されてゐる。南アメリカ、日本及び恐らくはロシアも、アメリカの機械器具の一層大きな購買國となるであらう。兎に角産業界は、今般の歐洲戰亂が凡ゆる金屬工業に對して刺戟的な効果を與へるであらうといふ事に就ては、意見が一致してゐる。

鐵道は諸種の便益になる設備に就て深く研究を進めて居り、且鐵鋼販賣業者に對して、今秋車輛需要が激増するだらうといふ事を通告した。

船舶の建造は急速に増加するであらう。海軍省は116隻の世界戰爭當時の驅逐艦の改造を開始した。

今後製鋼作業が増大するだらうといふ豫想が行はれてゐるが、これは今季末に於ける大湖の鑛石積出の激増に反映されるだらう。船腹は特別に増加して就役させられるであらう。さうして季節は天候さへ許せば12月まで延長されるであらう。

8月には15,230隻の船が就役して居り、其の中の206隻が鑛石の取引に従事してゐた。船舶當局は9月末までには少くともなほ25隻の船が就役するであらうと信じてゐる。

航空機の生産は、もし中立法による武器禁輸が撤廢されれば、なほ今以上に刺戟されるであらう。

中立法は武器、軍需品を交戰國に積出すを禁止するものである。從てこれ等のものをフランス、ドイツ、ポーランド、英本國、印度、オーストラリア、ニュージージーランド等へ輸出する事は禁止された譯である。

輸出を禁止された貨物は實際戰爭に使用される物質だけに限られてゐる。即ち火器、彈藥、火藥、戰車、軍用車輛、毒ガス及其の構成物、軍艦、凡ゆる型式の航空機及其の部分品等である。さうして原料、農産物及び非軍事的工業製品等は其の中に含まれてゐない。從て、鐵、鋼、屑鐵、石油類、工作機械、機械及び食料品等のやうな物質の輸出の途は依然開けてゐる譯である。これ等の物質に對する外國の需要の増加は明白である。

輸出禁止の適用は、國內の製造業者に軍需注文の履行不可能のものを残した。其の額は凡50,000,000弗と見積られてゐる。

補足規定によつて國務大臣は、武器の積出が交戰國へ再輸出する

爲のものではないといふ確證を要求する権限を與へられてゐるにも拘らず、カナダが正式に宣戦を布告し損た事は、實は軍需品をヨーロッパへ轉送する便宜を保留する爲に、熟慮の結果爲されたものだといふ感が持たれてゐる。ある方面ではカナダが獨り特に禁輸宣告から除外された事を指摘して、カナダの宣戦布告しなかつた事を目して、豫め準備のうへ爲されたものとしてゐる。

カナダが宣戦を布告しない限り、カナダは歐洲の民主主義國にとつて、法律上禁止された物資を輸入する爲の裏道として役立つだらといふ事は、容易に想像される。多くのアメリカの會社のカナダ支店が、武器の製造を始める事は確實である。現に若干のデトロイトの自動車會社は、既にカナダの工場に於ける軍用飛行機製造計畫を研究してゐると云はれてゐる。

何時まで武器禁輸が效力を持続するかは推量の事に屬する。大統領は從來中立法修正の希望を強く表明して來た。さうして彼が此の目的の爲に特別議會を召集する事は確實と見られてゐる。

もし修正が實現されるとすれば、それは現に輸出禁止の行はれてゐる場所に於ける「現金、自國船」による購入以外を禁止するといふ形式を採るであらう。其の結果は、もしも交戦國が現金を以て支拂ひ、自國の船を使用するならば、如何なる物資をも販賣する事を可能ならしめるであらう。

**紐育通信** (9月25日發信) 7月13日通信以後に於ける米國製鋼作業率は次の通りである。

7月17日	56.4%	8月7日	60.1%
7月24日	60.6%	8月14日	62.1%
7月31日	59.3%	8月21日	62.2%

米國製鋼作業率は夏枯炎暑の候にも不拘引續き上昇の一路を辿り今週の如き本年最高の作業率を示して居る。5月中旬の低率作業週に比するときは特に4割方の躍進である。今や1940年新型自動車の製作繁忙期を控へ作業率は此儘グングンと高騰するであらうがこの反季節的現象は今後の足取と共に興味を以て觀らるべき點である。

今試みに過去數年間に於ける製鋼作業率の足取を觀察するに1929年の大不景氣以前即ち1924年乃至1929年の6ヶ年間に於けるが如き周波的な作業率は最近見られなくなつて居るのであつて、稍ともすれば一般の豫測を裏切り不規則的な足取を示して居るのである。換言すれば1929年以前に於ける作業率の高下は周期的にして例へば3月に於て作業率は其最高に達し夏枯の7月に至りて底を突き其後の3ヶ月は之が回復期とも云ふべきものであつて11、12月の兩月に至て作業は一般に稍々低下を見ると云ふのが季節的定型であつたのである。然るに1930年以來此の型が破れ作業率は1931年乃至1932年の第14半期を除き1930年以降1932年の夏に至る迄季節に不拘一路低下の一途を辿た。而して其後に於ける作業率は益々「イレギュラー」なるものとなつて居り例へば1935年に於ける足取は12月の作業率が7月のそれに比し40%の増加であり之を所謂「定型年!」の5%増加に比するときは特に反季節的現象となるのである。更に1936年に於ける作業率は上昇に上昇を續けると云ふ型破りを示したるに對し1937年に於ては年末に至りて例の歴史的低下(19.2%)と云はるゝ作業さへ見たのである。

擬今年残る月は如何なる展開を見せるであらうか、歐洲に於ける政局の變化が米國重工業に及ぼす影響大なるものある事は言を俟たないが製鋼作業の浮沈に最も關係の深い自動車工業の繁忙期は既に労働祭休日(9月4日)を待たずして華々しく到來するものと豫測されデトロイトに於ける本週の作業率は早くも79%から82.5%に

躍進して居る又一方鐵道方面の需要も擡頭を期待されて居りユニオンパセフィック鐵道會社の如きも各250萬弗を投じて17輛編成の流線型二列車の引合を出すなど秋口市況は相當の活況を呈するものと噂して居る。

獨露不侵略條約の成立が果して如何なる結果を齎すであらうか嚴正中立を欲するも對英佛との關係にて窮地にある米國が今後如何なる態度に出るかは世界の等しく凝視する處である。當地新聞紙上などでは臨時議會の招集をさへ噂して居る。而して國內軍備充實を期せんがため屑鐵、銑鐵、鐵製品は無論の事一般軍需品の輸出禁止の日が意外に早く到來するにあらざるかと觀察する向も意外に多くなつて來た様である。

**既約定品に對する證明書取扱について** 日本鋼材聯合會は12日開催の常務理事會に於ては原材料の獲得並に値段等の先行見透困難の爲新規賣出を見合わせる事となした爲既契約品に對する證明書取扱について其處理方針を次の如く決定した。

先般開催の理事會に於て配給證明書整理の爲新規賣出を見合せたるに伴ひ今後各組員よりの出荷に當りても適當なる方法を講じ、以て市場に堆積せる證明書を回収せんが爲め、本日在京棒、形、板聯合常務理事會を開催。協議の結果次記の通りの處理方針を相定め申候。

1. メーカー直接契約のものはメーカーにて證明書引換へに荷渡すること
2. 指定販賣人を通じ實需家に契約せるものは指定販賣人より證明書を提出せしめたる上にて積出をすること
3. 指定販賣人を通じ問屋に契約せるものは、從來證明書なしにて問屋へ引渡せるも今後は先物店賣の別なく問屋より證明書を提出せしめたる上にて積出すること
4. 發生品につきましては既契約に充當し得るものは可及的多く之れに充當し證明書の回収を迅速ならしむること

之は當組合のみに於て遂行出来難きものに之有所詮切符の整理は指定販賣人をしてなせしめねばならぬ次第に御座候間是を指定販賣人に申傳へ此の方針にて遂行すべく立案方を依頼致置候但し問屋とも交渉し成案を得るべく期待致居り候其上にて更に常務理事會又は理事會を開催し御協議可仕候。

**鐵鋼配給統制團體の改正** 商工省は曩に昭和13年10月21日商工省告示第303號鐵鋼配給統制規則第2條の規定により「化學纖維工業鐵鋼配給協議會」を指定したが10月4日告示第235號により「化學纖維物資調整協議會」と改めた。

**形鋼共販の新組合員** 去る8月8日に開催された形鋼共販臨時總會に於て承認された東京シャリング株式會社の形鋼共販加入については9月12日開催された日本鋼材聯合會に於ても之を承認された。

## 東京、大阪鐵鋼市況

多事多端の9月ではあつた。

歐洲に第二次世界大戰を以て目される戦端が開かれ、販賣會社は舊約整理の爲めと稱して賣止めを爲し、米國スクラップが河岸着換算90圓見當から120圓、140圓、160圓となり、新東短期は130圓前後が大戦來一聲で170圓を突破し、爲替は對米27弗が23弗臺となり、18日には物價停止令が現れ、鐵鋼原材料の優良工場集中説が飛ぶ等々睦目、陰若たらしめる事が集積したのである。

然し市場は靜なる事林の如くである。

尤も1時は前日迄の低價格策の先驅を承る鐵價の引下げ乃至調

整不可避を忘れて、世界的物價高必至、連れて國內物價は少く共現在より上昇すると見て稍賣惜み、買焦り氣味が無くはなかつたが、それも物價停止令に依て、鐵價の如く重要性を有するものは假令上昇するにしても嚴重なる統制下に於て恣意を許されぬ事が示唆され其の前途は自ら明となつたので、直ぐ様冷靜に還り、諸々の統制策を體して善處に専念し、從來と同じ條件の變化に依て變化してゐると云ふに留まると見てもよい情勢を示してゐる。

即ち舊約整理を理由とするメーカーの賣止めと積出不圓滑とに依て此處へ來て事實供給が一段と鈍化し、旁々賣止めと云ふ事が實質以上に悲觀されて、各店共手持が常態の半減又は三分一に減少したと言はれるに至り、而も賣れる寸法は殆ど潤れて、異口同音に品拂底激しくして手も足も出ぬ事今日の如く甚敷きを知らずと言ふ状態となつて殆ど閉店休業であるが、然し、若し賣買が有れば規定値段を守り、稀に見える入荷物を待て、専ら整理商内に終始すると云ふ状態を現出してゐるのである。

環境の騒然、複雑たるに比すれば死灰の如しと喩へる所以である。

### 東 京 市 況

**丸 鋼** 6mmは極く少量ながら線材のミスロールを利用出来る場合が無くはないので、全然手も足も出ぬ状態に置かれてゐる他の伸鐵細丸と比すれば、眞に微ではあるが、窮通の道が有るのださうである。6mm其の物ではなく、而も有るか無しかの御零れ物を拜用して以て比較的良しとせざるを得ぬのであるから、伸鐵細丸の貧困の様は推して知るべしである。6mm、7.5mmは補足配給も今は昔の語り草で品切、9mm、12mmは材料支給で特急向に伸ばされるが、其の名の示す如く特急向で一般需要とは頗る縁が遠く、尙又伸鐵工場に多少積まれてゐるらしいが賣止めで來らず、茲許文字通り品切である。若し假りに手持が残てゐるとすれば、日鋼販建値で賣買されるのが建前である。

9mm、12mmの所謂メーカー物も舊契約の整理品が極く弗々見える程度で、飛行機で通た臭ひ程の臭ひもかけぬ始末である。

ベース丸は建築方面の需要其の他の入用が、統制で壓縮され、網の目から溢れるもの丈であるが、大變な數量で、切符が山積してゐる一方舊約整理が一向に拵取らぬので、多言を要せずに閉店休業の餘儀無き状態に置かれてゐる様は想像して戴けると思ふ、新規引合に承り置き、切符は預り置いてそれ以上一步も出られぬ仕儀である。

中丸は舊約物が弗々ながら入荷し、中間鋼が介在してゐて、ベースに比較すると供給力が有る方であり、且復切符も多くないので多少の應需は可能である。勿論不足勝ちながら他を思へば、以て瞑すべき状態である。

太丸も150mm以下には鋼管の整理積出しが見られ、緊急物が多少共出されるので、瞑すべき組に屬してゐる。

**角、平鋼** 角鋼12mmまでは伸鐵賣止めで品切、小形角鋼は過般八幡から整理品が若干入荷したが、消化されて現在では品切である。然し需要力が弱く、無ければ無いて我慢されるし、問屋には諦念が有り、興味と刺戟が薄いので、聊か、無いは致方が無いでは過されてゐるやうである。

中形は75mm位ひまでは八幡から發生品が入るし、宮の整理品が見え、中間鋼も残てゐる一方切符が少いので、何うやら間に合てゐると思はれてゐる。昨今としては需給状態可良ではあるが、手持として残るやうな事無いのは勿論である。

平鋼3mm厚は伸鐵分野なので、其の賣出しが無いとあつては品切とならざるを得ない。値段は日鋼販の小形値段即ち20圓10錢に従屬せしめられるやうに思はれるが、元來所謂メーカーが賣出してをらぬ物であつて、伸鐵独自の建値に依て手當てせしめられてをり、且エキストラを附される性質を有してゐるものを卒然と歸一せしめるのは、統制の爲の統制に墮する嫌ひが有るから、之れは必ずや別に考慮せらるべきである。今日此の事無いのは日鋼聯が賣止中であるからで、要するに3mm厚の値段は懸案中と見てよいのではあるまいかとの解譯を抱いてゐる向も有る。従て假令手持が有たとしても賣るのを遠慮し、或は又假値段で賣買する場合を生ずるかも知れぬが、それは此の際としては全然頭から拵撃せらるべき事でもないやうに思はれる。元來品切と見てよいのにそのやうな事も有るので賣買は見られず、値段も不明としてをいた方がよいやうな状態である。

小形平は釜石、富士、東京シャアの舊約品が弗々入るが兎角積出しが不圓滑で整理が一向に進まず、一方小口ながら切符が山積してゐるので、依然として極端なる需給の不均衡を痛感せしめられてゐる。75mm幅以上は大阪が東京に配給するどころではなく、大阪自身其の日の事に困じてゐるので、補足配給物も愈々潤れ切り、東京シャアも契約は残てゐるが、材料關係で民間向の整理は御預け状態なので75mm幅以上は全然應需の望が無い。現在手持として多少共残てゐるのは以前に西路から入た不意氣寸法の19×50、19×100、9×125、12×125等始末の悪い物であるから、是は勘定に入らず、即ち閉店休業と云ふより他に致し方が無い。

**形 鋼** 小山形A級は共販物が跡を斷たのは舊い事で、今更品切を言ふ迄もないが、僅に頼りにしてゐる伸鐵物が出ないとなつては、之れ又文字通り現品絶無とならざるを得ない。A級は賣買不能。B級は東海から舊約物が弗々來るので昨今としては供給状態が良い方である。然し自動車方面の入用が中々盛なので、需要に追はれ勝ちなのは言ふを俟たず、多少共纏れた注文には手を上げてしまふ状態である。C級は切符少く、消化力が鈍かつたので、未だ多少各サイズ共残てゐるやうである。4×45のみは依然として入荷の見込み無し。

中山形等邊は軍需向に追はれて舊約の整理さへ殆ど顧る餘裕が無い。過般6×50、65×65、90×90が多少積出されたが勿論素通りの消化されて影を留めず、一方需要はベース丸を凌駕する程の勢なので、近來は鋼材中最も供給難を來してゐる。従て最近では期限付きの引合などは天から話にならず、切符は敬遠され、只預り置くを承知の上で、呈示し、受入れるに止まる。特殊需要の重壓が去らぬ中は店賣は現状を續けると見られてゐる。

中山不等邊は65×75の整理品が多少入るのみである。少し以前までは、それでも不意氣寸法が残てゐたが、何しる等邊が皆無なので、不等邊が無撰擇に代用され、今日では不等邊も亦品切となつた。

大山形は130、150が弗々入荷し、一方入用が減少してゐて以前からの手持が多少残てゐるので、之れは昨今としては間に合てゐる方である。尙ほ發生品が現在では到着の儘立往生の状態であるが、之れも何れは解決されて流用出来るに到るであらうから、大山形はむしろ延地にでも出して轉身を願はれると云はれてゐる。現在の市中在庫には此の「賣れぬ大山」が大分含まれてゐるやうである。大山不等邊は賣行の如何ではなく、永い間の積出絶無に依て品切状態となつてゐる。

溝形、工形は溝形の 6.5×150×75、工形の 100×200 が多少入荷したが、其他は整理積扱取らず、入荷した物も直ぐ様切符に充當されるので、賣れるものは賣り盡されてゐる。◆物は實需引當に稀に積出されるので、市場とは殆ど無關係となつてゐる。尙發成品は立往生なので現在では溝、工も亦袖手傍觀の餘儀無き状態である。

**鋼板** 1.6 2.3 は積出も順調ならず、一方切符が大分溜つてゐるので、最近頼に手持が減少して、極端なる品拂底を來してゐる。第 2 日鋼販が設立して賣出と積出しが軌道に乗るまでは現状の儘に推移すると見られてゐる。

3.2 4.5 は日鋼販賣出以前の物は大部分入荷済みであり、其の後の契約物も既に一部入荷したとかで、之れは積出状態良好、且つ 6mm を含んでの事ではあるが定期的に引續き 4,000 t 宛賣出されてゐるので、昨今としては賣買共に苦勞は非常に少い方である。

6mm は引受の割合が多く、且つ積出しが順調で、既に販賣會社から賣出した物も現品となつてゐるし、シャーからも手當てが出來ると云ふ工合である。一方定尺入用は減少傾向なので供給に苦勞は無いやうである。

8mm 以上も需要が切板に行く一方シャーから順調に來るので之れ復餘り大口の注文でなければ順調に賄へるやうである。

#### 大 阪 市 況

**丸 鋼** 何事に限らず一大目的を遂行する爲めには、その道程に於て必ず波蘭曲折を覺悟せねばならぬ。従てその道程に於ける諸現象に對して、常に一喜一憂するが如きことは、まことに見苦しき態といはねばならぬ。この意味に於て昨今一部の業者間に抱かれてゐる鐵鋼統制に對する危懼の念は、自分勝手の取越苦勞といはねばならぬ。複雑怪奇なる國際情勢に對應するためには、理窟のみの方策では何等役に立たぬ場合が往々あることを覺悟せねばならぬ。軍部要路の某將官はいはく、まつりの心を以てまつりごとを行ふ日本人獨特の心理は、あの御輿を昇ぐ光景に最もよく現れてゐる。ワツシヨ、ワツシヨと掛聲勇ましく御輿を推進めるのだが、右へよるよる、左へよるよる、進むかと見ればきりきりと旋回し出す。大勢で昇いてゐるため、方向も進路も支離滅裂のごとく見られるが、それでゐて、不思議や、物にぶつかりさうでぶつからず、曲線をゆきながらも、結局目的の方向にはちゃんと到達するのである。つひにお神輿が迷ひ子になつたといふためしを聞かぬ。なるほど、さういへばまつしぐらに進むばかりでは「曲がない」と義太夫の文句でさへいつてゐる。目的の方向はあまりにも明瞭であるに拘らず、とかく曲線的現象が斷續して現れることは、一面においてやむを得ないことかも知れぬ。最近の賣止めに對して世間ではとやかくいつてゐるやうであるが、この賣止めも結局は複雑怪奇なる世情に即應すべく行たものともいひ得るのである。かくてお神輿が時にぐるぐる廻りを演ずるゆゑんでもあらうか。

小形丸鋼は目下市中ストックは皆無といはれ、中間鋼も亦品切れ状態といはれてゐる。出廻りは弗々程度であるがこれは殆んど積遅れ品で、既契約のものに充當すべきものであるから、この所新規商内はサツパリといはれ、各問屋共昨今では全く開店休業の有様といはれてゐる。小中丸も亦市中ストックは皆無といはれ積出しも殆んどないやうである。其他一般中丸はほんの僅か乍ら伸鐵品の商内が散見せられる程度にて、一般メーカーのものは取引皆無といはれてゐる。太丸は最近鋼管のものが入荷したため商内は弗々出來てゐる。市中ストックも多少あるやうである。

夜毎練磨に傳授未だし蚊帳別れ 柿 大

**角、平鋼** 小形角鋼は伸鐵方面の賣出しがなくなつたので、市中ストックは極度の拂底を示してゐる。中形角鋼は目下商内は弗々出來てゐるやうである。殊に 50—75 は伸鐵品のストックが多少あるので取引は比較的活潑といはれてゐる。大形角鋼は荷廻りも不如意の所へ市中ストックは皆無なるため商内らしい商内は出來ないやうである。

平鋼は A サイズは市中極端なる品掠れといはれ出廻りも皆無といはれてゐる。B サイズも殆んど A サイズと同じ状態といはれてゐる。

**形 鋼** 小形アングルは A クラス及び B クラス共に伸鐵は 8 月以降は賣止めのため市中ストックは拂底してゐる。而し乍ら各伸鐵工場共ストックは可成りある様子である。共販ものは東海鋼業のものがほんの僅計り出廻てゐるが全く焼石に水位の有様といはれてゐる。

C クラスは當社釜石のものが可成り出廻てゐるやうであるが 4×45 は八幡物及び伸鐵品も皆無といはれてゐる。引合は相變らず旺盛である。

中形等邊アングルは市中ストックは極度の拂底を示してゐる。出廻りは弗々あるも之は既契約のものに充當されてゐる。

中形等邊アングルは一頃相當ストックがあつたやうであるが、最近では可成り減少した様子である。但し 75×100 及び 90×125 等は賣行は弗々程度にて市中ストックは相當あるやうである。

大形等邊アングルは荷動き不振のため市中ストックは相當多いやうである。

大形不等邊アングルは等邊に比し稍々ストックは少いやうであるが、之も亦賣行不振のため各問屋共之が處分に汲々たる有様といはれてゐる。

チャンネルは一般に品掠れである。但 75×180 及び 80×200 は賣行不良のため相當ストックがあるやうである。

ジョイストも亦ストックはない。大した賣行もないやうである。

**鋼 板** 1.6mm は 3×6、4×8 及び 5×10 共に品拂底の状態である、出廻りは弗々あるも、割當證明書冗濫のため全く焼石に水の有様といはれてゐる。2.3mm、3.2mm 及び 4.5mm は各サイズ共品切れ状態といはれてゐる。出廻りも皆無の有様といはれてゐる。

厚板 6mm も各サイズ共極度の拂底を示してゐる。8mm 以上のもは少量乍らシャーより積出される程度といはれてゐる。

**線 材** 問屋向出廻りは極度に不順調といはれ、従て各問屋共手持は殆んどないやうでこの所全く開店休業といはれてゐる。實需方面への積出は弗々あるやうである。一方製品界は昨今の國際情勢を織込み引合殺到の有様といはれてゐる。

**ブ リ キ** 一般に出廻りは不圓滑である。殊に 170 封度ものは品切れ状態といはれてゐる。従て中間寸法でお茶を濁してゐる。3,4 級品の出廻りも亦極めて不順調といはれ、昨今では商内らしい商内は出來ないやうである。170 封度 1 級 38 圓 28 錢、2 級 37 圓 75 錢。200 封度 1 級 39 圓 86 錢、2 級 39 圓 34 錢見當を唱へられてゐる。勿論これは置場渡の値段である。

東京大阪市中相場

東京 } 9月28日  
大阪 }

東京 } 9月28日  
大阪 }

		丸鋼	
		東京	大阪
6mm		21'60	—
9		"	21'60
12		20'60	20'60
19		18'60	18'60
25		"	"
50		21'10 伸	21'10
65		"	"
130		25'60	25'60
150		"	"
200		27'60	27'60
		角鋼	
		東京	大阪
9mm		22'10	—
12		"	—
16		20'10 伸	20'10
19		"	"
38		21'10	21'10
50		22'10 伸	22'10
65		"	"
100		24'10	—
		平鋼	
		東京	大阪
3mm×25mm		— 伸	—
9×19		20'10	20'10
6×25		"	"
6×38		"	"
6×50		"	"
6×75		21'10 伸	21'10
9×100		"	"
12×100		"	"
		等邊山形鋼	
		東京	大阪
3×20×20		22'10 伸	22'25
3×25×25		21'10 "	21'25
5×40×40		19'60	19'75
6×45×45		"	"
6×50×50		20'10	20'25
6×65×65		19'10	19'25
9×75×75		"	"
9×130×130		20'10	20'25
12×130×130		"	"
15×150×150		"	"

		不等邊山形鋼	
		東京	大阪
mm mm mm		20'10	20'25
9×50×75		"	"
10×75×100		"	"
10×90×125		"	"
9×100×150		20'60	20'75
12×100×150		"	"
		溝形鋼	
		東京	大阪
mm mm mm		22'10	22'25
5×50×100		21'10	21'25
6×65×125		"	"
6'5×75×150		"	"
7'5×80×200		"	"
9×90×250		"	"
10×90×300		"	"
		工形鋼	
		東京	大阪
mm mm mm		21'10	21'25
5'5×75×150		"	"
7×100×200		"	"
10×125×250		"	"
8×150×300		"	"
12×150×350		"	"
		鋼板	
		東京	大阪
1'6mm×3'×6'		26'20	26'20
1'6×4×8		27'30	27'30
1'6×5×10		28'40	28'30
2'3×3×6		25'70	25'70
2'3×4×8		26'80	26'75
2'3×5×10		27'80	27'80
3'2×3×6		24'50	24'65
3'2×4×8		25'50	25'65
3'2×5×10		26'50	26'55
4'5×3×6		23'50	23'65
4'5×4×8		24'50	24'65
4'5×5×10		25'50	25'65
6'0×4×8		22'00	22'15
6'0×5×10		"	"
9'0×4×8		21'50	21'65
9'0×5×10		"	"
12×4×8		"	"
		薄鋼板 (13枚)	
		東京	大阪
川崎		1'03	1'02
八幡		"	1'02
			ブ
			リ
			キ
米	{ 170/bs	—	—
	200	—	—
英	{ 170	—	—
	200	—	—
八幡	{ 170	38'28	38'28
	200	39'86	39'86
W. W	200	—	—
B. W. G. #5		185'00	192'00
		線材	

備考 置場値段、單位 100kg 但し薄板は1枚當り、線材はt當り、ブリキは1函當り。  
訂正 前月の鋼板 9mm 及び 12mm は ¥ 21'50 の誤りにつき訂正す。

昭和 14 年 9 月 中 發 表 各 種 鋼 材 建 値 表

(其の1)

所屬別	品 種 別	區 分	建 値 月 日	建 値 (千圓)	定 尺 (呎)	エキ ス ト ラ (圓)	備 考	
日 本 鋼 材 販 賣 株 式 會 社 (棒鋼)	丸 鋼	ベース (19~32mm)	9-12	186	{12, 15, 16, 18, 20, 22, 24}	ベース	11, 12 月積, 建値据置, 賣止	
		小形	55mm, 6, 8, 9	"	216	12	+30	長さのエクストラ 34呎迄の不定尺 5 圓増 34呎超 45 呎迄 6 圓増 45呎超 50 呎迄 8 圓増 50呎超 別途協議の事
			12 (總數量の 25%以内)	"	206	{12, 15, 16, 18, 20, 22, 24}	+20	
			16	"	191	"	+5	2 級 品 の 格 差
		36~48	"	196	"	+10	小形丸鋼 3 圓落以内 中形丸鋼 10 圓落以内	
		中形	50~85	"	211	12, 15, 18	+25	小形角鋼 3 圓落以内 中形角鋼 10 圓落以内
			90, 95	"	221	"	+35	小形平鋼 10 圓落以内 中形平鋼 10 圓落以内 中間サイズは別途協議の事
			100	"	241	"	+55	規 格 料 (日本標準規格に據る)
		大形	100超~150	"	256	"	+70	(1) 種 別 規格料
			150超~200	"	276	"	+90	鐵道車輛用 { S. R. 34 50 { S. R. 39 20 壓延鋼材 { S. R. 44 60 { S. R. 50 80
	角 鋼	小形	16~82mm	"	201	"	+15	構 造 用 { S. S. R. 34 50 壓延鋼材 { S. S. 39 20 { S. S. C. 20 20
			36~48	"	211	"	+25	造 船 用 { S. M. R. 39 20 壓延鋼材 { S. M. R. 41 50
		中形	50~80	"	221	"	+35	罐 用 { S. B. R. 34 90 壓延鋼材 { S. B. R. 41 60 { S. B. 41 90 { S. B. 44 100
			90~100	"	241	"	+55	鍛 鋼 規 格 { S. F. 34 50 壓延棒鋼 { S. F. 39 20 { S. F. 44 60 { S. F. 49 80 { S. F. 54 100 { S. F. 60 100
		大形	100超~150	"	256	"	+70	(2) A. チェン用鋼及物用鋼肌焼用鋼等 (炭素含有量百分比中 0.113 乃 至 0.17 標準のもの) 50 圓
		平 鋼	小形	65mm以下	"	201	"	+15
	中形		65超~130	"	211	"	+25	C. 特別極軟鋼(炭素 0.1 以下のも の) 最低 100 圓

(實  
需  
家  
指  
定  
河  
岸  
着  
本  
建  
値  
段)



昭和 14 年 9 月 中 發 表 各 種 鋼 材 建 值 表

(其の 2)

所屬別	品 種 別	區 分	建 值 月 日	建 值 (當圓)	定 尺 (呎)	エキストラ (圓)	備 考		
日 本 鋼 材 販 賣 株 式 會 社 (形鋼)	小形等邊山形鋼	A 3mm×20mm×20mm	9-12	221	12, 15, 18, 20	+25	11, 12 月積, 建値据置, 賣止		
		B	3×25×25	"	211	"		+15	
			3×30×30	"	211	"			
			3×40×40	"	211	"			
			5×30×30	"	196	"			
		C	5×40×40	"	196	"		ベース	25 呎超 40 呎未滿
			4×45×45	"	196	"			
			6×40×40	"	196	"			
			6×45×45	"	196	"			
			3×40×20	"	221	"			
	5×40×20		"	221	"				
	B	4×50×35	"	206	"	+10	大形 10 圓 中形 5 圓		
		6×50×35	"	206	"				
	中 山 形 鋼	等邊 (50mm 以上 100mm 以下)	"	191	{25, 30, 33, 36 40	+15 +10 +10 +10	小 形 中 形 大 形		
		4×50×50	"	206	"				
		6×50×50	"	201	"				
		8×50×50	"	201	"				
		不等邊 (邊の和 100mm 以 上 200mm 以下 但 125×90 を含む)	"	201	"				
	大 山 形 鋼	等邊 (邊 100mm 超)	"	201	"	ベース + 8 + 5	規 格 料 (日本標準規格に據る)		
		200×200	"	209	"				
不等邊 (邊の和 200mm 超 但 125×90 を除く)		"	206	"					
大 工 形 鋼	100×75mm 以上	"	211	"	ベース + 2 + 3 + 3 + 6	構造規格 S. S. 39 20 圓 造船規格 { S. M. 41 50 圓 S. M. 44 60 圓 罐用規格 S. B. 44 100 圓 車輛規格 { S. R. 34 50 圓 S. R. 39 20 圓 S. R. 44 60 圓			
	400×150	"	213	"					
	450×175	"	214	"					
	20''×7½''	"	214	"					
	24×7½	"	217	"					
大形溝形鋼	25mm×65mm 以上 (高 100mm 超)	"	221	"	ベース				
中形溝形鋼	75×40mm 50mm 以上 100mm 以下	"	221	"	+10				
		"	221	"	+10				

(實需家は渡指段なり  
指段は河岸着)

昭和 14 年 9 月 中 發 表 各 種 鋼 材 建 値 表

(其の 3)

所屬別	品 種 別	區 分	建 値 月 日	建 値	エ キ ス ト ラ	備 考		
日本鋼材販賣株式會社 (鋼板)  (實需家は渡値段なり指定河岸着)	耳付	小形 (12mm×5'×20'以下)	6mm超 12mm以下	9-13	175	ベース	9, 10月積, 建値据置  其の他エキストラ  6mm厚のものに付幅5呎超 20圓 幅 { 7呎~7呎6吋迄 15 7呎6吋超~8呎迄 20 8呎超~9呎迄 25 9呎超~10呎迄 30 10呎超 40 厚 { 25~35mm迄 10圓 35超~40迄 20 40超~45迄 30 45超~50迄 40 25mm超の定尺とは切板として取扱のこと 6mm中間寸法は各ベース値段の5圓増のこと 中板の中間寸法は最も近き寸法の値段に10圓増のこと 規格品の定尺は切板として取扱のこと 長さ 30呎超 10圓  規 格 料 (日本標準規格に據る) S. S. 39 20圓 S. M. 44 30圓 S. R. 34 80 S. B. 34 90 B. R. 39 20 S. B. 39 80 S. R. 44 30 S. B. 41 80 S. M. 41 30 S. B. 44 80 半軟鋼 20% 増, 硬鋼 30% 増 半硬鋼 20% 増, 最硬鋼 40% アニール オープンアニール 10圓	
			6mm	"	180	+ 5		
		大形 (12mm×5'×20'超)	12mm超 25mm未滿	"	185	+10		
			6mm超 12mm以下	"	185	+10		
		定尺 (3呎×6呎, 4×8, 5×10)	6mm超 12mm以下	6mm	"	190		+15
				12mm超 25mm未滿	"	215		ベース
	4.5mm		3×6	"	220	+ 5		
			4×8	"	220	+ 5		
	3.2mm		3×6	"	235	+20		
			4×8	"	245	+30		
	5×10		3×6	"	255	+40		
			4×8	"	245	+30		
	5×10		4×8	"	255	+40		
			5×10	"	265	+50		
	切板	小形 (6mm超~12mm)	厚板 ベース	"	220	ベース		
			6mm	"	225	+ 5		
	大形 (6mm超~25mm未滿)	厚板 ベース	"	230	+10			
		6mm	"	235	+15			
	薄板	31番	3呎×6呎 (13枚入)	9-15	260		10 月 積, 建 値, 据 置  其の他エキストラ  (1) 30吋×5呎 3圓 30×7 7 30×8 8 30×9 18 3呎×7呎 5 3×8 10  (2) 其他の特殊寸法はエキストラ 20圓 以内とし其の都度協定の事 (3) 規定外寸法は近似寸法の高き方の値段 による事	
				"	260			
"				258				
"				258				
"				256				
"				256				
"				254				
"				254				
"				252				
"				252				
"				250				
"				245	ベース			
"				255	+10			
"				265	+20			
"				240	ベース			
販				1.6mm 2mm	3呎×6呎	"		245
	4×8	"	255		+10			
	2.3mm	3×6	"	240	ベース			
		4×8	"	250	+10			
5×10	"	260	+20					

昭和 14 年 9 月 中 發 表 各 種 鋼 材 建 值 表

(其の 4)

所屬別	品 種 別	區 分	建 值 月 日	建 值	備 考
半 製 品	半 製 品	鋼 塊 { 半 硬 鋼	9-13	175	11, 12 月積, 建値据置, 賣止 1. 鋼 塊 單 重 500 kg 以上, 2,000 kg 未滿 最高 20 圓 2,000 kg 以上, 3,000 kg 迄 " 35 3,000 kg を超ゆるものは別途協議の事 チップング費用は別途申受けの事 2. 鋼 片 邊又は徑 75mm 未滿のもの及 180mm を超ゆる ものに付ては別途協議の事
		鋼 塊 { 硬 鋼	"	183	
		鋼 塊 { 最 硬 鋼	"	191	
		鋼 片 { 半 硬 鋼	"	199	
		鋼 片 { 硬 鋼	"	208	
		鋼 片 { 最 硬 鋼	"	217	
棒 鋼	棒 鋼	半 硬 鋼	9-13	225	11, 12 月積 徑 の エ キ ス ト ラ 丸鋼 5.5-6mm 50 圓 100超150迄 70 圓 8, 9 40 圓 150超200迄 90 圓 11-13, 50以上100迄 25 圓 角鋼は全部丸鋼の 15 圓増 六角鋼のエキストラ 12-17mm 100 圓 29-58mm 50 圓 17超-26mm 80 圓 橢圓鋼のエキストラ 30 圓 平鋼のエキストラ 厚 幅 3/8" x 3/8 又は 1/2" 150 圓 3/8-1 1/4 x 3/8-4 30 圓 1/8" x 3/8 又は 3/4 又は 1 140 圓 3/8-1 1/4 x 4 1/2 以上 50 圓 1/8" x 1 1/4-6 130 圓 1 1/2 x 2-4 30 圓 3/16 x 1 1/4-6 70 圓 1 1/2 x 4 1/2 以上 50 圓 1/4 x 3/4-4 30 圓 1 1/2 超 x 3 以上 30 圓 1/4 x 4 1/2-6 50 圓
		硬 鋼	"	235	
		最 硬 鋼	"	245	
第 2 部	鍛 造 丸 鋼 及 角 鋼	半硬鋼 { 100mm ~150mm	9-17	410	11, 12 月積, 建値据置, 賣止 平鋼は各鋼質共丸, 角鋼値段の 1 割増の事 長さの標準は丸角單長 3m~4m, 平 (幅 150mm 以下) 2m~4m, 其他は別に協定の事
		半硬鋼 { 150mm 超~200mm	"	470	
		半硬鋼 { 200mm 超~300mm	"	505	
		硬 鋼 { 100mm ~150mm	"	425	
		硬 鋼 { 150mm 超~200mm	"	485	
		硬 鋼 { 200mm 超~300mm	"	520	
		最硬鋼 { 100mm ~150mm	"	440	
		最硬鋼 { 150mm 超~200mm	"	500	
線 材 共 販	普 通 線 材 採 用 品 炭 素 硬 鋼 A B 電 信 線 合 鎧 裝 用		9-14	185	5.5mm 太 番 215
			"	245	255
			"	230	240
			"	240	250
			"	260	270
			"	250	260
			"	230	240
			"	220	230
			"	240	250
			"	240	250

